



自由通路から見た宮古駅。左側から1番線、踏切橋を渡り2番、3番線が、左手前には従来の三鉄線ホームもある。いずれのホームも利用予定



駅南側には宮古市役所が昨年10月に移転。駅北側とは自由通路で結ばれている



東側から見た宮古駅構内。踏切左手奥に新築された検修庫が見える



三鉄北リアス線のホーム。移管後も利用される予定とのこと



宮古駅1番線ホームから出発する上り列車



安家川橋梁。太平洋の大パノラマ広がる



三鉄久慈駅構内に待機する三鉄の新旧車両



大沢橋りょうを走る三鉄車両

宮古駅前

魚彩亭 すみよし

宮古市の新名物「瓶ドン」も食べられる宮古駅前の食事処。平日限定で昼弁(数量限定)の販売を開始。日替わり3種(フライなど、釜揚げしらす、鶏そぼろ)各500円、人気の至福のタラフライがセットの贅沢弁当は600円。

☎ 0193-62-3244
 宮古市米町2-10
 11:00~14:00(13:30LO) / 17:00~ネタなくなり次第終了
 不定
 予約可 宮古駅からすぐ

昼弁はじめました



大沢橋梁。こちらでもしばし停車。解説がある



先頭車両からの眺め



再建された島越駅



三鉄久慈駅内は地域の特産品、土産品コーナーもある

三鉄久慈駅名物「リアス平の」に弁当(1,470円)は1日限定20個。電話予約で確保も可能

☎ 0194-52-7310
7:00~16:30



宮古駅。正面のJR宮古駅が3月23日に三鉄の宮古駅に、従来の三鉄宮古駅は事務所等として利用される予定

田野畑駅

北山崎

三陸海岸を代表する景勝地

高さ200mの断崖に、奇岩怪石、大小さまざまな海蝕洞窟と、ダイナミックな海岸線が約8kmにわたって続く。自然の息吹を感じる春、時にやませにかすむ夏の海、紅葉の美しい秋、そして豊稔のような雪景色。いつ見ても魅力あふれる北山崎は、(公財)日本交通公社の全国観光資源評価「自然資源・海洋の部」で最高ランクの特A級の評価を得ている。

☎ 0194-33-3248(田野畑村総合観光案内所)
 田野畑村北山129-10
 見学自由

に移管。現在の三鉄の駅は閉鎖(事務所等に更予定)される。駅名は「宮古駅」そのままで、駅名標のデザイン等が変更。三鉄ツリースト、三鉄の売店が入る予定。三鉄ほかJR全線のきっぷも販売される。

ホームについては1番線、2番線が主にリアス線の発着。3番線がJR山田線の盛岡方面の発着となる。なお、山田線については一部列車が1番線を利用。従来の北リアス線ホームも利用が予定されている。

なお、三鉄では、宮古駅構内に今回の全線開通に合わせ、運転、車両及び指令室の現業事務所である「運行本部」を設置。今年1月4日には増知事も出席して式典が開催された。隣接して、JR東日本による建設・整備が行われてきた検修庫も完成、移管後は、久慈、盛にある車両基地を宮古駅構内に集約。検修作業の一元化を図るといふ。

また、昨年10月、宮古市役所の新庁舎が駅南側に完成。駅の東西をダイレクトに結ぶ自由通路もできたことで、宮古駅前周辺の状況が一変した。今後は宮古駅を中心に都心機能が集約されることに。駅前には都市間を結ぶ長距離バスターミナルもなっていることから、宮古駅を中心としたエリアがますます都心機能を担うことになりそうだ。



八木沢宮古短大駅 | やぎさわかやこたんだい(宮古市)

宮古市の新興住宅街でもあり、県立宮古短大にも近い八木沢地区に誕生する新駅。宮古市の補助事業として三鉄が工事を受注。駅舎は八木沢団地住宅、県営住宅側面に面している。



磯鶏駅 | そけい(宮古市)

藤原ふ頭に近い磯鶏駅。住宅街の一角にあり、震災時は津波で浸水。JR東日本により駅舎、ホーム等には修繕が施されている。磯鶏駅のホーム向かいにはSL公園があり、9600型(9625)蒸気機関車が静態保存されている。



宮古駅 | みやこ(宮古市)

手前から、現在の三鉄宮古駅、駅南北を結ぶ自由通路(市役所直結)、くろっと遊、そしてJR宮古駅。3月22日で現在の三鉄の駅は閉鎖、移転。翌日から三鉄宮古駅での業務がスタートする。

三鉄リアス線 宮古駅~釜石駅情報

市役所も移転し、整備が進む宮古駅周辺。三鉄の関連施設も集約される

従来のJR宮古駅は、復旧するJR山田線(宮古~釜石)とともに駅舎も3月23日に三鉄

震災復興が進む岩泉小本駅、田老駅周辺の町並みを車窓にみながら、列車は再び山間に佐羽根駅、一の渡駅あたりの雲田気はまさに深山の駅。これもまた、リアス線ならではの景色。山口団地駅を過ぎると一気に街の雰囲気に。宮古駅に入線する。

普代駅から先はトンネルが連続する区間だが、田野畑、島越、岩泉小本、田老の各駅からは海を臨むこともできる。久慈~宮古間にあるトンネルは43。その総延長39・084kmと久慈駅~宮古駅区間の総延長71・0kmの半分以上がトンネル区間となる。中でも根待駅と田老駅間にある真崎トンネルは全長6532m。JRを除く鉄道では全国屈指の長さだ。

久慈駅から盛岡まで163km。太平洋に沿って三鉄で一気通貫

陸中野駅を過ぎると深山幽谷の趣に。待浜駅を頂点に25%の急坂が続くが、新型車両はいとも簡単に登り詰める。その後、八戸線は国道45号と並走。人家も増え、久慈の町が近いことを知る。

三鉄・久慈駅の「リアス亭」で予約していた「うに弁当」を受け取りホームへ。太平洋の眺めとトンネル、そして、北上山地の風景変化に富んだ車窓がこの路線のウリだ。野田玉川駅を過ぎると間もなく安家川橋梁。列車は一時停止し案内ガイドも。大きくカーブした橋梁上からは、眼下に、国道45号の橋脚が架かる安家川の河口と下安家漁港、さらに大きく回り込むと小袖海岸へと続く海岸線を一望する。